

(新) 放射線による自然生態系への影響調査費

61百万円 (0百万円)

自然環境局自然環境計画課

1. 事業概要

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、当該原子力発電所から放出された大量の放射性物質による環境の汚染が生じており、福島第一原発周辺地域の野生生物から高濃度の放射性物質が検出されたことが報告されている。このような事故は過去にあまり例がないことから、放射性物質による直接的な影響のみならず、人間活動の変化による間接的な影響も含め、自然生態系にどのような影響が生じるのか懸念されているところである。

このため、環境省が中心となって、ICRP（国際放射線防護委員会）の定めた標準動植物の考え方を参考に試料を採取し、今回の事故により自然環境下に放出された放射性物質による自然生態系への影響の調査を行うとともに、情報の公開及び関係者間での情報共有を推進することにより、放射線による自然生態系への直接及び間接的影響の全体像の把握を目指す。

2. 事業計画

(年度)

	H24	H25	H26	H27	H28
放射線による自然生態系への影響調査		生態系への影響調査			
		情報交換会の開催・情報プラットフォームの構築			
			関係者の連携による長期観測体制の検討・構築		

3. 施策の効果

事故由来放射性物質により影響を受けた自然生態系の状況及び今回の事故が間接的にもたらす自然環境への影響を把握するとともに、環境省が実施する調査と研究機関等が実施する調査の情報共有により、関係者間で生態系への影響に係る調査及び情報収集の効率化が図られ、原発事故による自然環境への影響の全体像が把握される。

放射線による自然生態系への影響調査

- 福島第一原発事故により放出された放射性物質による直接的な影響ばかりでなく、人間活動の変化による間接的な影響も含めた自然生態系への影響を懸念。
- 今回事故による自然生態系への影響についての長期に渡る調査の実施とともに、関係機関との情報共有により被害の全体像を把握することが重要。



【放射性物質による生態系への直接及び間接的影響の調査】

➤ 放射性物質による自然生態系への影響把握のための指標種の調査

警戒区域及びその周辺地域における事故由来放射性物質による**自然生態系への影響把握のための指標種の調査**

➤ 福島第一原発周辺地域における自然環境変化の把握

人間活動が大きく減少している**福島第一原発周辺地域における自然環境の調査**



【情報収集の効率化及び情報の共有化の推進】

➤ 自然生態系への影響把握に係る情報収集の効率化及び情報の共有化の推進

関係機関及び各分野の専門家等との情報共有を図るための**情報交換会の開催**及び**自然生態系への影響把握に係る情報を集約した情報プラットフォームの構築**



放射線による自然生態系への直接及び間接的影響の全体像の把握